

水上レンジャーの巻 琵琶湖河川レンジャー レポート

**住民と行政が共に考え
共に活動する川づくり**

住民の思いと行政の想いを繋ぎあんなから愛される野洲川へ」

「住民と行政が共に考え、共に活動する川づくり」をテーマに行政と企業や地域住民の方々が別々に実施している野洲川の河川清掃活動を河川レンジャーが繋ぎました。

住民・行政(琵琶湖河川事務所)をつなぐ活動
河川レンジャー
住民と行政の想いを繋ぐ

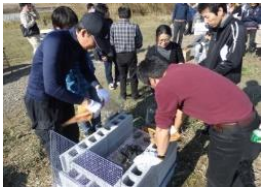
野洲川クリーン作戦
(河川清掃)
行政(国交省、守山市)

地元企業(レイマック)
CSR活動で河川清掃を実施

野洲川で活動している住民

地元自治会

◆ 水上河川レンジャーの活動フロー図(野洲川の河川清掃) ◆



防災カマドの火がうまく起こせなくて皆さん苦労されていました

第二部では、野洲川中洲親水公園の前の水辺で野洲川通水40周年記念イベントとして防災カマドを造り、出来上がった防災カマドで非常炊き出し体験を行いました。



水上河川レンジャーより(活動概要)
第一部では、野洲川中洲親水公園(あめんぼう)の上下流の河川清掃を行いました。
地元の企業の(株)レイマック、地元自治会、行政(琵琶湖河川事務所、守山市)あわせて約70名の方々に参加して頂きました。

河川レンジャー

活動支援室

2020年1月発行

VOL. 39



今後も「皆から愛される野洲川」を目指して、行政と住民の橋渡し役として河川レンジャー活動を進めていきます。

令和元年野洲川河川清掃



行政(琵琶湖河川事務所・守山市)、地元企業の(株)レイマック、地元自治会の方々と連携した河川清掃活動ができました。また、近年、全国で想定外の災害が起きています中、小さな活動ですが、防災カマドの体験を通じて、防災に関心を持って頂く事ができたと考えています。

河川レンジャー活動紹介・レンジャー名・“活動テーマ”・進行している活動

根木山レンジャー

“野洲川の川守りをつなぐ”をテーマに活動しています！

野洲川下流部・守山市中洲地区にて活動しています。「かわまちづくり」として整備された野洲川中洲親水公園の住民による利用促進に取り組んでいます。また、昨年度から、野洲川の樹木伐採(公募)を行う住民を支援しており、今年度は、2月から「土日合同伐採作業日」を3回実施すべく、河川管理者と連携して運営にあたっています。またウェブ、SNS等で「野洲川の樹木伐採(情報交換サイト)」を立ち上げ、情報発信しています。

近藤レンジャー

“河川利用者間の交流の場を作り、協同での清掃活動の実施をめざして”をテーマに活動しています！

年末に一度、瀬田川流域の複数の大学生団体と年末大掃除と銘打ってついに共同での清掃活動を実施することができました。この調子で引き続き頑張っていきたいです。先日、地域防災マップ作りのお話を聞いて非常に興味湧き、時間が許せばそちらのほうにも手を伸ばしてみようかな、などと考えております。任期期間も残りわずかとなりましたが全力で頑張ろうと思います。

活動拠点 (問い合わせ先)

水のみぐみ館 ウォーターステーション琵琶内 河川レンジャー活動支援室
〒520-2279 滋賀県大津市黒津4-2-2 TEL077-536-3520 FAX077-536-3530
E-mail: r-manager@water-station.jp URL: <http://www.water-station.jp/ranger>
FB: <http://www.facebook.com/BiwakoRanger>

フェイスブックで活動を広報しています！

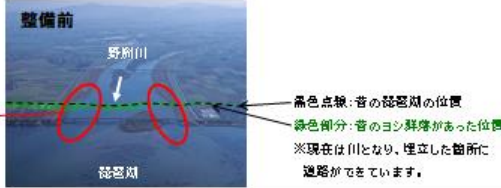
琵琶湖河川レンジャーFacebookページ
<https://www.facebook.com/BiwakoRanger/>

野洲川河口部ヨシ帯再生事業(概要)

事業の目的

横断連続性の回復を図り、コイ科魚類等の産卵・生息環境の再生をねらい、野洲川河口部および周辺湖岸でヨシ原を復元する。

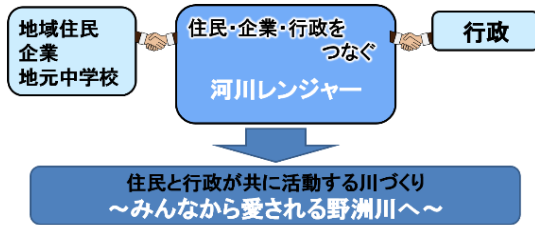
- 新しく作った大きな野洲川ができ、昔から苦しめられた水害がなくなりました。
- 野洲川の河口部に川をつくるために、鋼矢板を打って川の水があふれないようにしました。そのためニゴロブナなどの産卵や魚の子供達の住み処がなくなっていました。



- ニゴロブナや魚の子供達を助けるため、鋼矢板の前にヨシ原をつくり魚たちが産卵したり、魚の子供達が住めるようにしました。



行政と住民（中学生）を繋ぐ河川レンジャー



国土交通省が整備した野洲川河口部ヨシ帯で立命館守山中学校の生徒の皆さんがモニタリング調査を行っています。

河川レンジャーが河川管理者である国土交通省琵琶湖河川事務所とのつなぎ役を行い、意見交換会の運営や調査の支援を行っています。

中学生ならではの視点を生かしたり、簡単でわかりやすい調査方法を探求したりと、地域の学校と河川管理者のWIN-WINが向上するように発展させています。

河川管理者（琵琶湖河川事務所）と中学生が連携したモニタリング調査

1. ヨシ帯がどのように成長していくか調査（面積調査）

ヨシ帯の面積を測定してヨシ帯の成長を調査しています

2. 生き物の住処（すみか）としての調査（植生調査）

ヨシ帯にどのような植物が植生しているか調査しています

～ヨシ帯繁殖状況調査～



～現地での植生調査～

- ドローンの空撮写真を活用して植生図を作成。
- 作成した植生図を現地に持参し、机上で判読した植物が実際に植生しているか生徒たちと検証を行いました。



植生図

ドローンで撮影した野洲川右岸河口部の航空写真に、中学生たちが各種植物を判読しマーキングしました。

